

### 質問事項

- ◆高齢者福祉タクシー
- ◆市内の新型コロナウイルス感染者
- ◆香取おみがわ医療センターの独立行政法人化
- ◆香取おみがわ医療センター附属看護専門学校

# 久保木 宗一

くぼき そういち 議員

## 香取市の医療を守るために おみがわ看護専門学校の 継続を



### 質問事項

- ◆新型コロナウイルス感染症対策
- ◆生活困窮者の相談
- ◆GIGAスクール構想の進捗状況と今後の予定

# 辻達広

つじ たつひろ 議員

## ワクチン接種に向けた 体制づくりを万全に



**問** 看護師確保は医師不足の中で極めて重要である。コロナ禍が仮に一段落しても間違いなく感染症の時代になり、看護師の確保は子どもから高齢者まで全ての市民の健康と命を守るために必要だ。おみがわ看護専門学校の継続をあらゆる角度から検討してほしいので市長の答弁を。

**答** 看護専門学校の存続と看護師確保というのは、別問題であると思います。看護師や医師の確保というのは、市としても、また、香取おみがわ医療センターにしても大きな課題であることは、承知しています。皆様方からのご提言を頂戴しながら、私自身も努力していきたいと思っています。

**問** 看護専門学校の存続と看護師確保というものは、別問題であると思います。看護師や医師の確保というのは、市としても、また、香取おみがわ医療センターにしても大きな課題であることは、承知しています。皆様方からのご提言を頂戴しながら、私自身も努力していきたいと思っています。

**問** 市立病院から公務員ではない独立行政法人病院になった後、市の負担金が減少し経営が厳しくなった場合、市が全面的に財政支援をするのか、または民間に病院を譲渡するのか。

**答** 病院経営の効率化によって経営状態が改善され、市の補填する部分が縮小していくことが望ましいですが、市としては設置者としての責任を果たしていくことになると思います。

**問** 現在の香取おみがわ医療センターおよび看護専門学校は課税対象ではないが、独立行政法人病院になると固定資産税等課税対象になるのか。

**答** 原則として税金は免除となります。看護専



看護師確保の一翼を担う香取おみがわ医療センター附属看護専門学校

門学校も附属ということでも課税対象にはなりません。が、医師住宅・職員が利用する保育施設などを病院が併設している場合は、土地建物に対する固定資産税は課税されます。

**問** ワクチン接種の手順はどうなっているか

**答** 市から新型コロナウイルスのクーポン券が送付されますので、同封の案内通知や広報、ホームページ等で接種場所を確認し、個別接種希望の場合は接種可能医療機関へ電話等で予約、集団接種希望の場合はコールセンターまたはウェブ上のシステムで予約します。

**問** ワクチン接種の優先順位と、その時期は

**答** 現時点での優先順位は、医療従事者等、次に高齢者、その次に基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者、その後それ以外の者です。開始時期は、医療従事者は2月17日から、高齢者は4月26日の週以降、基礎疾患を有する者や高齢者施設等の従事者を含むそれ以外の人は、さらにそれ以降となります。

**問** 生活困窮者の声を聴く市政を

**答** ウイルス感染拡大に伴う生活困窮者の把握はできているか

**答** 香取自立支援相談センターや社会福祉協議会から相談者の情報等を受け、相談件数や内容の把握に努めています。

**問** 生活困窮の相談窓口と支援策はあるか

**答** 香取自立支援相談センター、社会福祉協議会、市社会福祉課で相談を受けています。同センターでは自立支援相談事業の実施や、住居確保給付金相談・申請受付、社会福祉協議会では緊急小口資金や総合支援資金の相談・

貸し付け、社会福祉課では住居確保給付金の支給決定・支給、生活保護制度を活用した支援を実施しています。

**問** GIGAスクール構想の更なる推進を

**問** 校内の通信環境の現状と支援員の配置は進んでいるか

**答** ネットワーク整備は全ての小・中学校で完了しており、授業での活用機会の高い普通教室と特別教室等に整備しています。令和3年度からはGIGAスクールサポーターを配置し、使用マニュアルの作成やICT活用に関する相談業務を行います。

**問** コロナ禍での悩み事相談窓口の現状と拡充は

**答** いじめメール相談を行っています。令和2年度の相談は1件です。中学校で行ったアンケートではメールとLINEどちらも相談のしやすさは変わらないとの回答が多かったことから、いじめメール相談窓口の周知を図っていきます。

**問** コロナ禍での悩み事相談窓口の現状と拡充は

**答** いじめメール相談を行っています。令和2年度の相談は1件です。中学校で行ったアンケートではメールとLINEどちらも相談のしやすさは変わらないとの回答が多かったことから、いじめメール相談窓口の周知を図っていきます。



令和3年2月に全小・中学校への端末整備が完了した